

VISION



The Brotherhood of St. Andrew Japan, Inc.

《幻がなければ民は墮落する》箴言29章18節

一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18
日本聖公会東京教区会館内
3-6-18 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo
TEL 03-3436-4325 FAX 03-3432-1696
http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org

BSA 会報《季刊発行》

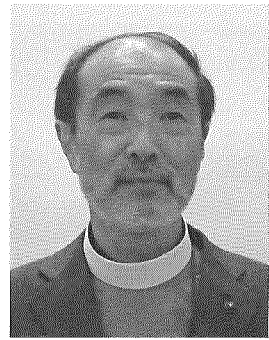
発行人 足立征三郎

編集者 萩谷長生

印刷所 株式会社スコポレーション

「神の栄光が現われますように」

東北教区主教 フランシス 長谷川 清純



白黒の古いスナップ写真を見せてもらいながら、子どもたちへの宣教や教育に情熱を燃やしていた様子を垣間見させていただきました。そして、このような大学生たちの汗と熱意が詰まった歴史ある場所は、被災の惨状から必ず回復すると信じられたのでした。かつての磯山聖ヨハネ教会は解体されて現在は「いのりの庭」として整備され、場所を移してリフォームされた

建物が新しい教会となって10数人の信徒たちが礼拝をささげています。室根聖ナタナエル教会は昨年教区と合併して伝道所になり、教区に「室根山麓施設活用プロジェクト」が立てられ、今後の宣教活動が模索されています。

ヨハネによる福音書第21章に、ご復活の主とペトロの対話があります。イエスは言われた。「わたしを羊を飼いなさい。...年をとると、両手を伸ばして、他の人に帯を締められ、行きたくないところへ連れて行かれる。」ペトロがどのような死に方で、神の栄光を現すようになるかを示そうとして、イエスはこう言われたのである。このように話してから、ペトロに、「わたしに従いなさい」と言われた。

年を取り段々ガタが来て、弱り、膝は痛い、耳は遠くなる。生活や理念、思想や理想、夢や希望が打ち砕かれることも多いのが現実です。ところが散々で敗北のようなのに、神の栄光は意外な形で現れるのです。それは誰にも想像できない仕方であるというのが、ご復活の主からのお示しでした。死して神さまの栄光を現せるとは、信仰者の無上の喜びです。そんな道を皆様と歩めますように、聖霊のお導きをお祈りいたします。

長谷川清純東北教区主教

按手式・教区主教就任式

盛岡支部 ルカ 赤坂 徹
2023年(令和5年)4月22日(土)に東北教区主教座聖堂／仙台基督教教会において、主教按手式が行われました。フランシス長谷川清純主教被選者が公会の主教の職に按手され、東北教区第9代主教に就任されました。長谷川主教は秋田県能代市出身で同志社大学卒業後にウイリアム神学館に入学されました。

京都教区で執事按手、司祭按手を授けられ、東北教区に移られました。写真は長谷川主教を迎えた武藤主教、加藤主教、吉田主教と東北教区の司祭様達です。私も信徒代議員として参列することができて大きなお恵みを頂きました。BSAの足立征三郎会長が按手式に参列され、式の後長谷川主教にご挨拶され、ご一緒に写真を撮っていただきました。この機会に東北・北海道にBSAの拠点が出来るように願っております。

添っておられました。その後は「いっしょに歩こうプロジェクト」の中心となって息の長い被災者支援に着実な歩みを続けられました。

長谷川主教はご挨拶の中で日本聖公会宣教協働区、教区再編に向かう途上であり、力強くその歩みを皆さんと進めて行きましようと話されました。長谷川主教が東北教区から1回の選挙で選ばれたことから、東北教区が一つとなって広大な北海道教区と、それから東京・北関東教区の皆さんと共に歩いていくこととなります。まず手始めに北海道教区・東北教区宣教協働タスクホース「チーム北国」が設置されました。長谷川主教は卒業されたウイリアム神学館の長い歴史の中で初めて主教になられ、その伝統である「道を伝える己を伝えず」の精神を貫かれることと存じます。

東北教区新主教に 名誉副会長推戴状を贈呈

4月22日に行われた東北教区主教按手式に足立征三郎会長が出席し、長谷川清純主教にBSA名誉副会長推戴状と記念品「BSAマーク入りスカーフ」を贈呈した。



長谷川新主教をばさんで(右)足立会長と赤坂盛岡支部長(左)

その後、2011年3月11日の東日本大震災が発生して、被災者支援に奔走している中でも謙次さんが被災地を訪問してくださり、疲れた私を誘ってお酒を飲んでおしゃべりをしては、大いに癒されたのでした。東北教区において、それまで私は、特別気にも止めていなかったのですが、被災教会である福島県の磯山聖ヨハネ教会と、宮城県の室根聖ナタナエル教会は、かつてBSAが大活躍していた拠点だったと知りました。



司式はルカ武藤謙一首座主教が務められ、マリア・グレイス 笹森田鶴主教(北海道教区)は説教の中で長谷川主教が東日本大震災の被災者の元に向われた時に復活された主イエス様がおられたとお話しされたことを紹介されました。長谷川主教は愛する人を奪われ、大切なものをなくした方々と共に歩んで寄り

後日、BSA理解を深めるため、教区事務所に既刊の信徒叢書23巻、70年記念誌・90年記念誌をお届けした。

「祈り・連帯―テゼ共同体に学ぶ」

―BSAセミナー開催

今年のBSAセミナーが5月27日(土)、東京の聖アンデレ教会を主会場にして開かれた。今年のテーマは、「祈り・連帯―テゼ共同体に学ぶ」。講師は、植松 功さん。

テゼの音楽については、植松さんが、本紙182号で紹介している、詳しくはそちらをご覧ください。

どの曲も基本的に短いもので、歌詞も聖書から採っており、それを何度も繰り返し歌う。この繰り返しこそ、テゼの音楽の大事な要素である。内容は祈りや願い、感謝が多く、それらを繰り返し歌ううちに連帯する気持ちも生まれてくる。



今回、植松さんは祈りの中に、特にBSAの将来に対する期待と希望を込めてくれた。

事前の参加申し込みは、30人(組)であったが、教会に集まって参加したところもあり、実際は60人(推定)。主会場の聖アンデレ教会には、20人が参加した。この日は、聖マーガレット教会から、リコーダー、ギター、チェロによる楽器演奏と歌手合わせて6人が賛助出演し、雰囲気を感じ上げた。特に、底から響いてくるようなチェロの荘重な音色がなんとも言えない感動

で会場を包んだ。

終わり近くになったところで長い沈黙が続いた。アイコン(聖画像)に向かって祈る植松さんの後ろ姿には、近づき難い雰囲気

が漂っていた。対面で参加したある会員は、「沈黙の豊かさ」と小さき者の側に立つこと、連帯の意味を深く考えさせられた」といった。

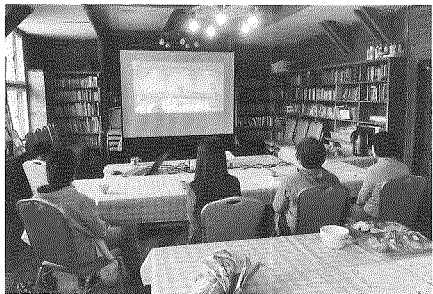
友人と誘い合って参加したという女性は、「来てよかった。最後のところで、植松さんの長い沈黙と祈りがあり、吸い込まれていくような気がした」と興奮した様子で話してくれた。

「わたしは敬愛する友人は「弱い人」と小さくされた人たには、複雑なものが入り難い。シンプルに繰り返しが重要だ」という植松さんの言葉は印象的だ」と感想を送ってくれた。セミナーの様子はYouTubeで全国に配信した。

自宅で参加したある会員は、「感動した。このような感銘深い企画は、BSAの存在価値を非常に高めるものだ」というメールをくれた。

北総支部の女性会員は、「米国が来ますように」の祈りの期間に集うことができ、テゼの歌と祈りに引きこまれました」と感想を送ってくれた。

清里聖アンデレ教会では、5人が集まって視聴した。(写真)



参加した人からは「豊かな時を過ごさせていただき感謝です。」「昔、教会でやった婦人会の静想日を思い出しました。」「植松 功さんの弾き語りと楽器・歌のアンサンブルが絶妙でした。」「等の感想が寄せられた。

開会の祈りは、BSAチャプレンの下条裕章司祭、詩篇朗読はBSA理事の島崎敏彦兄、福音書朗読は、同倉辻明男兄、祈りは足立征三郎会長がそれぞれ担当した。

足立会長作成のチラシが広報で大きな力を発揮したことも特記しておきたい。

日本聖公会、聖アンデレ教会、聖マーガレット教会をはじめ、関係各位のご協力に感謝を申しあげる。(理事ダビデ吉松英美)

BSA100周年に向けて (連載第2回)

BSAの正会員はなぜ男子に限られているのか

理事 アブラハム 野田 徹
一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会(日本BSA)の定款、第3章「会員」の第5条には、

「(1)正会員 この法人の目的を理解し、事業に賛同して入会した男子キリスト教徒」と記載されており、総会議決権や理事・監事、さらには支部における幹部役員資格に至るまで「男子」であることを条件としている。このことは2013年以前

の社団法人時代の旧定款においても、「(会員) 洗礼を受けた男子の基督教信徒は総て本会の会員となること」が規定されており、(注:現行定款では、法人の目的を理解し事業に協力する個人(男女問わず)及び団体は正会員ではなく「賛助会員」として入会できる)。

また、赤表紙二つ折りの旧版パンフレット(製作年不明)では、「BSAの目的(キリストの御国の拡張)を達成する行動として、困難を乗り越えて、機会があってもなくても進んで毎週努力するためには、信仰に支えられたよほどの決心と堅固な意思が要求されるため、会員は自然に男子が主となり、中でも有志の人々(BSA会員など)に限定されてくる。婦人伝道補助会やGFSが女子のみの運動体である」と説明されている。

一般社団法人化の中で、所轄の官庁である内閣府からは、男子限定規定について修正要請も出されたという。

やがて100年の歴史を刻む日本BSAにとって、祈禱と奉仕をモットーに、その理念・目的を遂行・達成していくために、その担い手であり活動の主体である正会員の資格について、この時代にあってわざわざ「男子」と規定していることには、性別やジェンダーによる公平性ばかりでなく、人々の生活や社会環境の変化などの点からもこれに本当によいのかという大きな疑問があり、議論の必要性とも

対し、その対応をいつまでも先送りしておくわけにはいかない課題である。なおこれらの議論・対応の結果によってBSAの本来的理念・綱領(男子とくに男子青年の間にキリストのみ国を拡張すること)にいささかの変更があるものではない。聖公会信徒が性別にとらわれず、キリスト者としてみな共に一致して宣教に励む姿は、ポール・ラッシュも異論をはさまないと思うが、皆さんはどうお考えになるだろうか。(つづ)

BSA研修ツアー案内

聖ヨハネ修士会の歴史
コンウォール・リー女史の働きを学ぶ

北関東教区の三教会とその関連施設、小山祈りの家(元聖ヨハネ修士会)、榛名聖公会と草津聖バルナバ教会・聖慰主教会を訪ねて聖ヨハネ修士会とバルナバミッションの働きを学ぶ。

- 日程 2023年10月4日(水)~5日(木)
- 訪問先 小山祈りの家・榛名聖公会・栗生楽泉園(重監房資料館等)・聖慰主教会・草津聖バルナバ教会・リーかあさま記念館(全行程貸し切りバス使用)
- 泊 宿 泊 ルートイン安中
- 講師 木村直樹司祭(北関東教区退職)
- 募集定員 先着25名
- 参加費用 30,000円予定
- 申し込み 8月1日(火)より
申込用紙はホームページからダウンロードできます。
FAX又はメール添付でお申し込みください。
FAX: 03-3432-1696
e-mail: mail.bsa@nssk.org
- 締切 8月31日(木)
但し、定員になり次第締め切りとします。
- 問い合わせ BSA本部研修ツアー担当
☎: 03-3436-4325

7月1日
BSA信徒叢書 新刊発行

西原廉太著

『キリスト教と科学』

キリスト教会は地動説や進化論とどう向き合い、対応してきたか。キリスト教と科学は矛盾するのか、両立し得ないものなのか。キリスト教と科学を巡る根本問題について古今東西の原書に直接当たり解き明かす。(著者は中部教区主教、立教大学総長)

お申し込みはBSA本部 叢書担当へ、頒価100円。
FAX: 03-3432-1696
e-mail: mail.bsa@nssk.org

★一般ご家庭の引越 事務所引越
★オフィスの引越
★フローアの移動 のエキスパート!!
★各種展示会セッティング etc...
GTEC 株式会社ギンテック
港区港南3-4-12
TEL 0120-223-008
TEL 3471-5313

ホームメイド・チーズケーキの店
CHEESE CAKE
JOHANN
HOME BAKED MADE
目黒区上目黒1-18-1
TEL 3793-3503

立教企画グループ
学校業務受託、人材派遣等承ります。
株式会社 立教企画
株式会社 立教オフィスマネジメント
株式会社 立教ファシリティマネジメント
株式会社 立教ライブラリーマネジメント
http://www.rikkyo-planning.co.jp

St. Luke's
会員制健康クラブ
聖路加フレンズ
☎ 03-3541-1056
受付時間 平日9:00~16:00
https://www.stlukes-friends.com/

ビジョン広場

私の好きな聖句(2)

南町田支部

ヨハネ 吉野俊樹
あなたがたは地上に富を積んではならない。富は、天に積みなさい。

(マタイ6:19-20)

この度、お誘いを受けBSA入会の手続きを行うと同時に、本機関紙への寄稿を依頼されました。

本機関紙の媒体特性の理解が十分ではない中、私の好きな聖句をご紹介します。

私は現在、勤務先の法務部門に籍を置いており、同志と会社内で無料法律相談というプロボノ活動を行っています。

「プロボノ」とは「公共の善のために」を意味するラテン語Pro Bono Publicoを語源とする言葉で、社会的・公共的な目的のため、職業上のスキルや専門知識を活かしたボランティア活動といわれます。

法務部門に在籍する有志部員が業務以外にも「皆様のプライベートな悩みの解決のお役に立てないか」という思いで活動しています。本活動は経営トップの理解、応援もあり、実際に利用してくださった相談者からも感謝されています。

「祈りと奉仕」をモットーとするBSA入会にあたり、改めて聖句を味わい、自らの行動を顧みる次第です。(真光教会)

清里聖アンデレ教会

マリア 楠本敬子

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。(テサロニケ1:5:16-17)

世の中は、大きく変わり、だれもが携帯を持ち、AI時代になり、いろんな情報が入り、便利になったものの、ゆっくり、のんびり出来ません。人の心の内までわかりません。

こんな時こそ一番大切なのは何かと、自分に問いかけます。いつの世にも忘れてはいけない言葉、日曜日は教会に行く事、家族を愛し、隣人を愛し、敵をも愛しなさい、精一杯頑張ってみて、どうにもならない時は、心配しなくても、あとは神様に祈り、おまかせすればよい。

わたしたちクリスチャンは、本当に幸せです。いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんな事にも感謝しなさい、と神様がわたしたちにそうするようにと望んでおられるからです。

盛岡支部 井上 聡
主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダマ)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れた。人はこうして生きる者となった。(創世記2:7)

私は、転勤族のため全国各地で暮らしています。基本的にルーテル教会ですが、カトリック、日本基督教団にも行き、今は盛岡聖公会に出席しています。

盛岡聖公会では先日の礼拝で、事情により急遽リードオルガンを使いました。リードオルガンは、足踏みペダルで空気を送り込まなければ音が出ませんが、その礼拝では、きれいな音色が聖堂に響いていました。

一生懸命に空気を送られたのでしょう。そこには祈りがあつたと思います。オルガンは、木材や金属などの組み合わせで過ぎませんが、祈りを込めて空気を送り込んだ時に、主を讃美す

る素晴らしい音色を奏でたのだと思います。

この聖句では、主が息を吹き込まれて、人が生きる者になったと書かれています。私は、物質的には土の塵に過ぎませんが、主が祈り、息を吹き込まれたので、今生きてると信じます。そして、塵に帰る日が来るまで、遣わされた場所で、御旨を聞き取り、適うように生きていきたいと思います。(盛岡聖公会)

支部だより

横浜支部

染谷孝章兄を囲む会

横浜支部長

テモテ 早野勝徳



染谷孝章兄は、大学を出た後、就職したが、召命を受けて、3年前に、聖公会神学院が開校した「信徒の奉仕・召命コース」を受講、翌年、神学院本科生2年次に編入した。

神学院の卒業式で、中村邦介校長は、「染谷君は、よく考えてから落ち着いて行動する人である。周囲からの信頼には篤いものがある」と紹介した。

出席者からは、「神様の導きを戴きながら、これから始まる司牧の現場で、これまでの経験を生かした豊かな働きが実践されるように」との期待と希望の言葉が贈られた。

染谷聖職候補生は、4月1日付で、八日市場聖三一教会に赴任した。(横浜聖アンデレ教会)

BSAに入会して

南町田支部

ガブリエル 折戸雄司

昨年度から教会委員となり会計の仕事をしています。前任者で大先輩の小出康之さんから、「BSAという組織があるのが入ってみたい」とお誘いを受け、入会しました。

日本聖公会とのかかわりは祖父が福井聖三一教会の司祭であったことから父が信者となりました。その父が昇天した時に、神の啓示があり、私も正式な信者になりました。

それでも「BSA」といっても全く知識がなかったのです。思い出すのは以前、妻と旅行で八ヶ岳の「清泉寮」を訪れた事がありました。そこで「キープ協会」や清泉寮の歴史展示を見たことでした。そこで食べたソフトクリームが美味しかった事のほうが記憶に残っています。

入会してから送られてきた資料に眼を通し、聖徒アンデレ同胞会のことや戦後ポール・ラツシュ博士が再建したことも知りました。宿泊施設も清潔で感じが良かったのです。

入会を良い機会に、100周年の事業に協力できればと考えています。(真光教会)

北総支部 テレサ 湯田千秋
BSAに入会したきっかけですか？夫が会員でしたので、BSAの名前は知っていました。結婚してから偶然にも敬愛するアンデレ佐藤六郎さんのお住まいの近くに居を移したご縁で六郎さんご夫婦からは温かいおもてなしを度々受けました。

時々のおしゃべりの中で、BSAという言葉が耳にしましたが、男性の奉仕グループということでしたから、わたしはお話を伺うだけでした。

それがこの度、萩谷兄と湯田に勧められて入会することになりました。

実はBSAという頭文字の意味も今回確認しました。具体的な活動内容はあまり知りませんが...

機関紙ビジョンは毎号楽しみに拝読しています。これからはセミナーなどの講演会にも参加したいと思っています。よろしく願います。(柏聖アンデレ教会)

阿佐ヶ谷聖ペテロ教会

コルネリオ 八木達郎

今年の春、礼拝堂の入口の書類置きに「BSA入会申込書」が置いてあるのが目に入った。ほぼ毎週礼拝に出席しているが、申込書に気づいたのは初めてである。思わず一部持ち帰った。それからしばらくして、教会

委員などと一緒にいる同年の木島 出兄に、「BSAって誰でも入れるの？」とお訊きした。「入れるよ」が応えだった。その翌週だったか、彼が申込用紙を持ってきて住所氏名欄に記入するように言い、記入が終わると持ち帰っていった。ずっとBSAは立教大学OBの集まりだと思いついてきた。従って立教卒ではない私には関係のないものだ...

創立の恩人 ポールラッシュ
学校法人メイウシヤマ学園

ハリウッド大学院大学
ハリウッド美容専門学校

〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ
0120-083394 www.hollywood.ac.jp

瀬川義夫さんと私

三光教会 ルカ 永井信行



今井悉治司祭を訪ねて、ベタニアホームに行き、司祭が幼年期を過ごされた浜松の話題で盛り上がった後、話が合うと思えますよ、と紹介されたのが瀬川さんでした。それから月には2、3回行くようになりました。

瀬川さんはベタニアホームのシンボルともいえる芝生の管理を一手にひきうけており、年間作業手順表が出来上がっていました。そのお手伝いと家庭菜園の苗や種、肥料などを買い出しに行くのが私の主な仕事です。BSAの副会長を2期、キープ協会の理事もなさっていました。戦争中大変なお仕事に就いておられたようですが、戦争の話は余りなさいませんでした。教会の話が多かったようです。瀬川さんのお部屋はいつもキッチンと片付いていました。本棚の上には奥様の写真、あるとき本棚の整理で私が持ち帰った中には海運業界の歴史と奥様の同窓会誌がありました。朝の礼拝のご自分の聖歌コピーはちゃんとファイルされています。出はじめのワープロを使わずに目を書いた、と字が一回り大きめのコピーです。そして何よりも奥様を亡くされたからの一人暮らしで体調を崩されたこととの教訓からでしょう、ベタニアホームで出される食事以外、間食はいっさいなさいませんでした。105歳の原動力は間違いない、これです。コロナの前

に2回でも3回でもお会いしておけば良かったと悔やまれます。(冥福をお祈りいたします。)

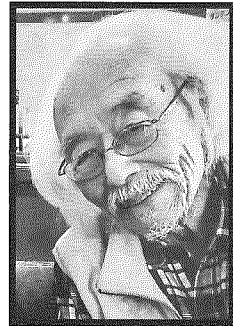
(理事)

甲藤善彦兄のご逝去を悼む

北総支部長

アウグチヌス 岩間光雄

吾が友であり師でもあったテモテ甲藤善彦兄は、ここ数年来、体調の許す限り教会で礼拝を守って来られたが、去る4月4日安らかに主のみ許に召された。85年間の生涯であった。



甲藤兄はかつて松戸周辺に住む信徒に呼びかけて家庭集會を開き、畑を借りて主日には野外礼拝を守り、やがて松戸集會伝道所を経て今の松戸聖パウロ教会の礎を築く原動力となった中心人物である。

学生時代は立教のBSA活動にも傾注し、学内の10数支部(会員300余名)を率いる会長として優れたリーダーシップを発揮したであろうことは想像に難くない。そのまま大学職員として母校に残り、往時の学園紛争やその他の難題解決に誠実に、かつ精力的に取り組んだと聞く。そのお人柄から、さもありなんと思う。

たが嬉しかった。いずれ日本BSAを牽引する一人となつてほしいと願ったのは私のみではないはずである。(松戸聖パウロ教会)

(松戸聖パウロ教会)

連載 忘れ得ぬ人々(7)

福澤道夫司祭編(その1)

不良の友

インマヌエル新生教会

ウィリアム 麻田恭一

高校の卒業式後、仲間との惜別の思いを込めたチャペルでのコンサート企画「出発の歌」は、聖堂はコンサート会場に非ずという校長の頑強な反対にあった。その校長にかけあって許可をとってくれたのがフルキだった。



一九九八年、「二十六年ぶりのチャペルアワー」と銘打つてわが同期会66-72(66年中学入学、72年高校卒業)は始まった。当然のように司式をフルキにお願いした。この時、高校時代チャペルアワーをサポートばかりいた連中もこの企画に賛成したのには意外だった。

対に死ぬなよ!と叫んだ。働き盛りの自殺が盛んに報道されている頃だった。

二〇〇五年の「隅田川船上礼拝」は隅田川を運行する都営水上バスを借り切つてのチャペルアワーだった。綿密に打ち合わせた式文、どこからか借り出した礼拝道具一式、アコライト1名、3曲の聖歌のギター伴奏。説教も含め入堂から退堂まで堂々約40分のチャペルアワーだった。後日談だが、これ以降水上バスはたとえ貸し切りでも船上の「宗教行事」は禁止されてしまう。

二〇一三年、我々の還暦記念「青春談義60in潮来」を、フルキも大いに楽しみにしていた。ところがその少し前から体調を崩し、参加が危ぶまれた。そこで病床の自宅にお邪魔し「逝去者への祈り」「食前の感謝」「主の祈り」を録画した。残念ながら、潮来ホテルではこの録画を使うことになった。

二〇一四年、聖パウロ教会でのフルキの通夜は、ご遺族にお願いしてバックヤード万端をわが同期会に仕切らせていただいた。

二〇一八年の熱海での同期会は「古木チャプレンを偲んで」という文章で仲間呼び掛けをした。いまは福澤チャプレンだけでなく、ほくには、古木チャプレンのほうがしっくりくる。かわい

い外車を駐車スペースに止めると、マントをひるがえして降りてくる、マントの内側の赤がカッコイイーちよつと歩き、立ち止まって銀色のケースをポケットから取り出すと、嗅ぎタバコを指につけて鼻から吸った。あれから45年、いまでもあの時の古木チャプレンの姿を鮮烈に思い出す。と、同時に、高

校生のほくの姿も思い出す。どうだろう、還暦をとうに超えてしまった元高校生たちで青春を思い出し、古木チャプレンのことを話してみませんか?

今年3月、コロナ禍明けで人数五十人に絞った同期会を、立教のセントポールズ会館で開催した。もちろんお祈りはフルキだ。同期会には今なお、親には言えない素行不良でチャプレンの世話になったことを告白する友が現れる。なんだ、お前もそうだったのか!フルキは不良の友だった。来年は逝去十年になる。きつと来年も不良たちは集まるだろう、もちろんチャプレンはフルキで。

編集部付記:マルコ福澤(旧姓古木)道夫司祭は立教大学、日本聖公会神学院を卒業後、北関東および東京教区内で司牧する傍ら立教中学、高校等で長らくチャプレンとして活躍した。ユーモアに富む特異な人柄は若者を引き寄せ、彼らをして「フルキ」と呼ばしめた。

沖繩の旅 2023

インマヌエル新生教会

ヨハネ 松平謙次

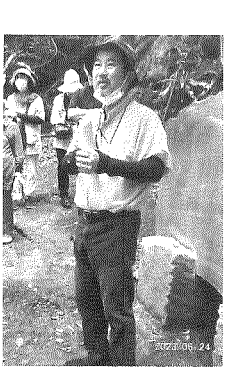
管区正義と平和委員会と沖繩教区の合同プロジェクト「沖繩の旅」が4年ぶりに6月23日、25日、現地地実施されることになって、教会の仲間たちと参加した。参加者は沖繩教区からは多い日は40名以上、管区・全国からの参加者は他教派の方を含め20数名であった。主なプログラムは次の通りである。

1日目・6月23日「沖繩慰霊の日」

主教座聖堂・那覇の三原聖ペテロ・聖パウロ教会に集合の後、フィールドトリップ(FT)へ。沖繩戦の最後の激戦地・摩文仁(まぶに)近くの海岸で礼拝。歌われた聖歌423「沖繩の磯

に」は山野繁子司祭が、かつてこの地に立った時の強い思いに突き動かされて作ったという。このあと慰霊碑として最初に建てられた魂魄の塔、摩文仁の丘に作られた平和記念公園、その中の平和記念資料館、「平和の礎(いしじ)」を回った。私は三原の教会の富本盛彦氏と共に歩き、戦没者20数万人の名前が刻まれている平和の礎の、父上のお名前が刻まれている所を一緒に訪ねた。沖繩では県民の4人に1人が戦争で亡くなったというが、こんなにすぐ近くの人にその傷が残っているということを実感させられた。

2日目・6月24日 朝の礼拝に続いてFTへ。前に続いて案内役は沖繩平和ガイドでもある上原榮正主教。



同師の案内で、浦添市にある琉球王朝時代の王都であった旧跡浦添ようどれ(王の墓の意)、読谷(よみたん)地方にある「ガマ」と呼ばれる沖繩本島に無数に存在する鍾乳洞のうち2か所を見学した。沖繩戦の中でガマは、ここに逃げ込んだ住民を軍隊が追い出したり、集団自決を強要したり、泣き声を出す乳児を親の手で殺させたりする悲劇の舞台ともなった。今なお沖繩の人々に「軍隊は住民を守らなかつた」と言わしむるゆえんである。FTの後は教会に戻り、グループごとに分かち合いの時間を持ったが、熱のこもった話し合いが予定時間を越えて繰り広げられた。(5面5段へ続く)

聖公会神学院入学礼拝

酒井健・下村仁士両兄、

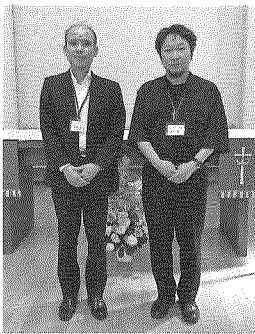
「奉仕と召命コース」受講

聖公会神学院の入学礼拝が4月4日(火)に行われた。

神学生としてアンデレ川島創士兄(中部教区)が入学した。

新設の「特任聖職特別コース」

には、フランス諸岡研史(中部教区)とファー大倉信彦(沖縄教区)両兄が、また「信徒の奉仕・召命コース」には、モーセ酒井 健(九州教区)、パウロ下村仁士(同)、バルナバ千葉洋右(横浜教区)、そしてマグダラのマリア安次嶺佳子(東京教区)の諸兄姉が入学した。BSA会員の酒井 健(写真右)、下村仁士(同左) 両兄も上京して、出席した。



「特任聖職特別コース」と「信徒の奉仕・召命コース」は、オンラインによる受講である。

説教に立った西原廉太中部教区主教は、この日の福音書(ルカ9:18)に触れて、「ここで言われているのは、聖職の召命とは何かということである。弟子たちに向かって『あなた

がたは、わたしを何者だといふのか』と問い、わたしに付いてきたい者は、自分を捨て、十字架を背負って従いなさい」といふ。

自分の十字架とは何か。今、十字架を負えなくても、精一杯自分の十字架を背負っていいという人に、イエスは祝福を与

えてくれる。みなさんは自分の十字架を大事にして欲しい」と饒の言葉を贈った。

BSAからは足立征三郎会長と後藤 務、吉松英美両理事が出席した。(理事ダビデ吉松英美)

神学院の門を叩く

福岡支部長

モーセ酒井健

「狭い門から入りなさい。」

(マタイ7:13)

神学院の門は思いのほか広かった。

入学式の感慨にふける間もなく、すでにオンライン講座は始まっている。これまでは、聖書をただただ味わって読んできたが、ここでは、歴史的・文化的背景をベースに、聖書を文献学的な観点から読むことも求められている。

これまでとは別の視点で聖書を読むことに、心を新たにしている。ただ、キリスト者として、いつでも、聖書の言葉を純粋に受け取ることに立ち帰らなければならぬ、ということにも、改めて気づかされている。

入学礼拝の途中で、入学者ひとりひとりが台帳に署名する儀式があった。わたしの記入すべきページの前に、3月に逝去されたばかりの元神学生、中山泰男兄の名前が記されていた。

亡き友の思いの残る台帳に重ねて記すのち覚えて

「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。」

(黙示3:20)

わたしを迎え入れてくれた方々の中に、亡き友の姿も確かにあった。

(福岡聖パウロ教会)

「信徒の奉仕・召命コース」受講の決意

福岡支部 パウロ下村仁士

洗礼堅信を受けて四年半、福岡聖パウロ教会の信徒奉事者として、奉仕に努める機会に恵まれてきました。そんななか、九州教区の武藤主教からの受講の勧めがありました。私自身、一

信徒として学びを深めなければならぬという思いや、より一層奉仕に励むことができればと思ひ、今から考えると軽い感じ

で、受講を決意しました。

入学面接のときに、聖職を目指す意向の有無を問われ、今回の受講が聖職への召命へとつながっているという重みを感じました。また入学礼拝では、これからの聖公会を担う役割を期待されているように思えました。

講義が始まって一か月が経ちました。週六コマの講義を受けるのは、予習や復習、聖書や参考図書を読み進めることも含めてなかなか大変です。

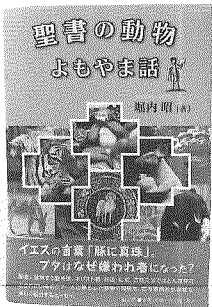
現在は、日々の講義に追い付くのが精一杯ですが、より一層奉仕に努めることができるよう、神の助けを祈り、励みたいと思ひます。

(福岡聖パウロ教会)

新刊紹介

『聖書の動物よもやま話』

堀内 昭著 教文館発行



読んで楽しいこと請け合いです。著者は立教大学名誉

教授。専門は有機化学。東京聖テモテ教会信徒で、「ぶどうの家」の理事長を務めた。

数年前、「動物よもやま話」キリスト教、仏教、神道(聖公会出版:2015)を出した。

今回はこれにあらたに12種類を加え、十二支に関する話をつけ加えた。

わたしは、「動物よもやま話」が出た時に、キリスト教関係の書評誌『本のひろば』から書評を依頼された。

その時、冒頭で「こんなに面白い本があつていいのだからか」と書いた。

なにが面白いかというと、例えば、シカの項を見ると、詩篇42冒頭の「涸れた谷に鹿が水を求めるように」(新共同訳)について、著者は「これには疑問が残る。動物は一般に本能的に水のある場所を知っているはずなので、水のない涸れた谷に水を求めることはないように思える。」と指摘した。

それかあらぬか聖書協会共同訳では「鹿が涸れ谷で水をあえぎ求めるように」となったという。このように科学者の目が随所に散りばめられている。

取り上げる動物は、まず聖書での出典箇所を示し、その生態や人とのかかわりを紹介する。文章は語りかけるように優しく、ユーモアがあつて愉快だ。

スペインの海岸に打ち上げられたマッコウ鯨の体内から「龍涎香」(りゅうせんこう)が見つかった、とイギリスの新聞「ガーディアン」が、7月4日づけで報じた。

龍涎香は、マッコウ鯨が食べたイカの骨などが消化されずに残り、結石したもので、古くから香水の材料として珍重されてきた。

今回見つかった龍涎香は重さ

が9.5キロもあり、時価にして7,700万円相当だという。わたしは、この「龍涎香」のことを本書で知った。

本書は、著者の専門分野の書ではないが、単なる趣味の本ともいえない。キリスト者としての信仰から生まれたというのがふさわしいであろう。

この本を書くために、著者がどれほど多くの時間と労力をかけたかは、巻末の「参考文献」一覧を見ればわかる。

コロナ禍にもかかわらず、各地に足を運んで取材したという。ご一読をお勧めする。

(理事 ダビデ吉松英美)

(4面6段から)

3日目・6月25日

主日礼拝。説教はこの数年「沖繩の旅」のコーディネーターとして働いておられる九州教区福岡聖パウロ教会の牧師・柴本孝夫司祭。この礼拝をもって、今回の公式プログラムは終了となったが、多くの参加者は午後3時から北谷(ちやたん)の諸魂教会で行われた教区「慰霊の日」礼拝に出席した。説教は上原主教のご子息の成和司祭。この礼拝の中で、今年度新たに戦没者名簿に記載された方々の名前が読み上げられた。また礼拝の後、現在制作が進められている映画「沖繩、再び戦場へ」の先行予告上映がされた。沖繩戦は78年前に終わったのではなく、新たな局面を迎えた、着々とその準備が進んでいる実態がよく分かった。私の教会はその後も牧師・卓司祭と参加者のうち残った有志5人で、さらに1日延長し、4日目も旅

を続けた。

4日目・6月26日

沖繩本島北部・名護、屋我地(やがち)方面へ。名護市の辺野

古は今回の「旅」ではプログラムに入っていないが、ぜひ訪れたかった所である。この美しい海に膨大な量の土砂を投入し埋め立てるといふ、無謀かつこれほどの自然破壊はないであろう。反対運動のテントを訪ねたが、座り込みは3,277日目になるという。

次に東京教区から出向中の朴美賢(パク・ミヒョン)司祭の司牧する名護聖ヨハネ教会へ。南国風の美しい煉瓦の教会だった。身体が頑強ではない朴司祭の健勝と主の祝福を折りつつ屋我地向かう。ここには小さいが幼稚園を併設する屋我地聖ルカ教会がある。牧師の高永敦(コウ・ユンドン)司祭は不在だったが、このような辺境と言つてい

いような地で宣教に励む、韓国からの司祭の働きに深い感謝と敬意を覚える。

このあとはすぐ近くにあるハセン療養施設・愛楽園内の祈りの家教会へ。愛楽園の基礎を築いた青木恵哉(けいさい)氏は16歳で発病し、熊本回春病院に入所していた時、1927(昭和2)年、院長の英国聖公会宣教師のH・リデル氏に救らる伝道のため沖繩に派遣された(後に伝道師認可、執事按手)。それ以来、住民の猛反対、迫害、焼き討ちなど、まさに筆舌に尽くしがたい艱難辛苦に耐え、遂に1938(昭和13)年、愛楽園は誕生した。今は名護の美しい海岸沿いにひっそりたたずむ国立のハンセン療養施設であるが、このような歴史を知ると、思わずいづまいを正さなければならぬ思いになる。

今後も多くの方々が沖繩の諸問題に心を寄せ、出来れば観光のみではない訪問をされることを望みたい。

(理事)

清里高原だより 清泉寮ニユース

盛夏にも涼風そよぐ 清泉寮

●お薦めのクールスポット
標高1400m八ヶ岳の中腹に立つ清泉寮。昼間の暑さを感じることはあっても、高原の涼風が吹き渡る朝晩に寝苦しさはありません。そんな清泉寮の中でも特に涼しさを感じられる七つのスポットをご紹介します。つ、会員の皆様の夏のお越しを待ちしております。

●一夏の清里聖アンデレ教会
月曜日を除く毎朝6時の朝の礼拝に参加し、祈りを捧げることで始まる身も心も涼しい一日。二ポール・ラッシュ邸中庭
ポール・ラッシュ邸と記念館の間の中庭は、涼風の通り道。ここで野鳥の囀りをBGMにいたたくコーヒーマーの味は格別。

●三川俣溪谷&吐竜の滝
夏の一番人気のハイキングコースです。真夏でも冷たい滝の周辺に手足を浸す心地良さ。

●四 清泉寮の露天風呂
身も心も温まるお湯と涼しい外気に交互に触れながら満天の星を眺める夏の夜の贅沢。

●五 ジャージーハットのテラス
高原の涼風に吹かれ、富士山や南アルプスのパノラマを堪能しながら味わうソフトクリーム。六 ツリーハウス&ブランコ
清泉寮ファームショップ周りの林間のツリーハウス、大ブランコは、夏の子供たちに大人気。テラスではペットと一緒にランチを味わえるのも魅力。

●七 清里テラス&美し森デッキ
どちらも車で約10分。涼しさと抜群の眺望が人気のスポット。

●NEWショップOPEN!

清泉寮本館に新しいショップ「ANNE OF KIYOSATO」がオープンしました。世界名作劇場「赤毛のアン」と清泉寮、デザイン会社とのコラボレーションにより生まれた新しいブランドです。清里の大自然の中で大人の女性に成長したアンの住む部屋をイメージした店内には、かわいらしく上品にデザインされたアイテムが並んでいます。清泉寮にお越しの際には、是非お立ち寄りください。一部商品の通信販売も行っています。

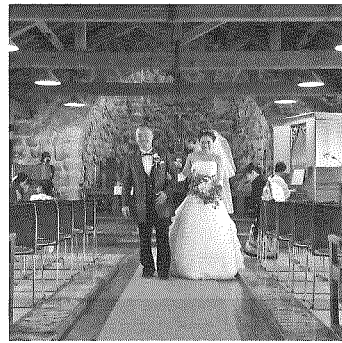
●問合せ先：清泉寮ギフトショップ (0551-48-4445)



●清泉寮の三つの挙式場

清泉寮には、それぞれの特徴を活かした三つの挙式場があります。抜群の景観と自然豊かな高原の立地を生かし、ご希望に合わせて空間と時間を組み合わせられた様々なウエディングをお手伝いさせていただきます。会員の皆様、ご関係の皆様にも是非ご紹介ください。

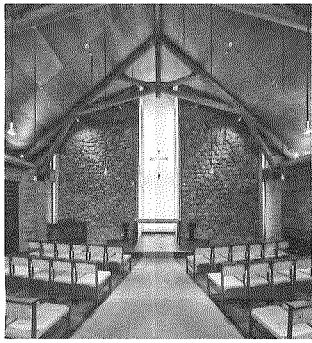
●一 日本聖公会横浜教区
清里聖アンデレ教会
1948年に奉獻され、地域の福音伝道の拠点となつて、当時のままの趣を残す珍しい畳敷きの教会です。



●二 レノックス野外礼拝所
1962年に米国レノックス高校の生徒によつて野外礼拝のために設けられた喧騒と隔離された森の中の礼拝所です。



●三 黙想館 (ホテル内チャペル)
清泉寮新館内にある高い天井、丸石を積み上げた祭壇壁が見事なチャペルです。自由に式場がアレンジできます。



●問合せ先：清泉寮フロント (0551-48-2111)

理事会開催報告(4月~7月)

- 4月10日(月) 研修旅行計画検討
- 今年度事業活動検討会
- 5月15日(月) 研修旅行計画検討
- キープ協会との協働計画他
- 6月12日(月) BSA100周年の取り組み
- 叢書「キリスト教と科学」発行
- 保存資料の寄託業務他
- 7月10日(月) 資料のキープ協会への寄託
- 研修旅行参加募集開始
- 宣教協議会実行委員会Q&A
- BSA100周年記念テーマを「BSAは誰のために、そして何のために」と決めた。

催し物案内

●聖ヒルダ会
ベタニヤ・ホーム後援会
チャリティイーコンサート
後援 BSA、他

●出演

●英国のバロックヴァイオリンのレジェンド
サイモン・スタンディジと仲間たち
〈演奏曲目〉
ヴィヴァルディ…
「四季」より秋、冬
J・S・バッハ…
ヴァイオリンとオーボエのためのコンチェルト
A・コレリ…
合奏協奏曲 作品6第6番

●日時 10月21日(土) 14時開演

●会場 戸塚区民文化センター さくらプラザホール

●入場料 3,000円

●チケット予約・問合せ
kouenkaikai@ngs.n-net.ne.jp
電話 090-6182-0347
090-1851-5849 (SMS可)

「VISION」文芸

野田 徹
ホトトギス鳴きて種蒔く山の畑
客なくも風を入れたり夏座敷
雑草を分けて摘み取るわらびかな
夏おわるケーキは薄くお茶は濃く
夏空に旧友偲ぶ八ヶ岳
緑陰の納骨式や涙雨
傘におつ雨音やさし炎暑果つ
挨拶は大声出して秋に入る

松平謙次
ダムすらも爆破破壊殺戮とどまらず苦しむ民の呻きは消えず
ウクライナ戦い止まず人類の叡知と進歩遙かに遠く
夕まぐれ篠突く雨に誘われて草木も今と待ちこがれしか
名月に色鮮やかに冴え冴えと心なごます百日紅の花
吉松英美

高橋恵太郎
桜桃忌太宰は遠くなりゆくも墓前に集う人とお供え
教会へ続く坂道年ごとに険しさ増せり人生もまた
彼にこそ司祭になつて欲しかった惜しまれ惜しまれY・N兄逝く

訃報

- テモテ 甲藤善彦兄 (85歳) 4月4日逝去 (松戸聖パウロ教会)
- テレジア 笠井妙子姉 (97歳) 5月23日逝去 (東松山聖ルカ教会)
- 瀬川義夫兄 (105歳) 6月2日逝去 (横浜聖アンデレ教会)

編集後記

4年前にもこの欄で水害見舞いを書いた記憶があります。このところ、また九州から中国地方、北陸、東北秋田にかけて日本海沿いに豪雨が続いています。編集部より被災された方々にお見舞い申し上げます。

巻頭言の中で長谷川清純東北教区主教は、弊紙の松平謙次編集委員と何かと縁があったと述べておられます。東北教区内の旧磯山聖ヨハネ教会と旧室根聖ナタナエル教会はかつてBSAが深く関わった活動拠点でした。今後新たな活動の復活を目指して拠点(支部)が設けられるよう願っています。(N・H)